

令和7年度調査事業(より専門的な分析等)の検討

令和7年1月29日

国土交通省 中国運輸局

○ 調査事業（より専門的な分析等）の実施（提案）

- ・ 調査事業Aにおける、36項目に及ぶ収集データやそれらの分析結果、現状把握/総合的な分析によって得られた分析結果は、ファクトとデータに基づく議論を深度化させるため、次年度においても、引き続き活用していく必要
- ・ この点、現状の議論の流動的な動向を踏まえると、実証事業Aのプロセスにおいても、終了した調査事業Aに関する追加的な調査分析を行って、実証事業に反映する作業が生じることがあらかじめ想定
- ・ このほか、議論の進捗に応じて、議論に即応できる、より専門的な調査体制を確保しておく必要
- ・ このため、調査事業Aのデータ・分析結果の深掘りや更なる情報収集を図り、もってファクトとデータに基づく議論の深度化を図るため、令和7年度においても、実証事業Aとは別に、以下の内容による**調査事業（より専門的な分析等）**を実施することとしたい

調査事業（より専門的な分析等）

○ 調査事業（より専門的な分析等）の具体的内容は、以下のとおり

- ・ 実証事業Aのプロセスで必要となる調査事業Aの追加的な調査分析
 - ・ まちづくり・観光との連携に関する調査分析や
持続可能な地域社会や公共交通の可能性に関する調査分析 等を想定
- ・ 調査事業（より専門的な分析等）の実施に当たっては、調査事業Aの結果も踏まえた上で内容を決定するが、その実施に際しては、知見のあるコンサルに委託することを想定（具体的な委託の手法等は今後検討）

芸備線再構築協議会 スケジュール想定

※第2回協議会から一部修正

| | R5年度 | R6年度 | | R7年度～ | |
|------|----------------|----------------|---------------------------------------|---|---------------------------------|
| | 下半期 | 上半期 | | 下半期 | |
| 協議会 | 3/26 第1回協議会 | 5/16 第1回幹事会 | 7/10 第2回幹事会 | ★ 第2回協議会 | ★ 第3回協議会 第4回協議会以降 年2回程度開催 |
| 協議事項 | | | A 芸備線の可能性を最大限追求 | | B 最適な交通モードの在り方を検討 |
| | | | 調査事業A ・データ収集・分析を実施 | 調査事業（より専門的な分析等） | |
| | | | 事業内容検討 ・R6分析結果を踏まえ、芸備線の可能性追求に向けて実証 | 実証事業A | |
| | | | | 事業内容検討 ・鉄道も含めた最適な交通モードについて実証 | 実証事業B |
| | | | | 再構築方針案 協議 ・可能性追求の結果を踏まえ、最適な交通モードについて議論 | |
| | | | 住民等意見聴取 ※協議状況等を踏まえ時期・回数を検討 | | |

方針決定